# 

### 改良機能紹介

平成 26 年 7 月 14 日

N 株式会社 システムズナカシマ

### 目次

はじめに	1
はじめに	
基本機能	
4 . 要素検索の改良	
- アングラ	
範囲検索のクロス指定対応	
2.外部ファイル変換の機能改良	
2 - 7 - B - フ	
DXF / DWG 変換の改良	
JWW 変換の改良	
3.フィールド機能の改良	
3. フィール R 機能の R R R R R R R R R R R R R R R R R R R	
シンボル、イメージボックスの追加	
日付書式の " 曜日 " 対応	
日付書式の計算式対応	
4. 領域データの編集強化	
5. レイヤ関係の改良	
0.000 大イヤ (株)	
新サイドバー『レイヤバー』の提供	
参照図モードでの画面操作に対応	
レイヤシートー括属性設定機能	
7. イメージ関係の改良	
左右回転、反転機能の追加	
プレビュー上での画面操作に対応	
8 . 顧客 MasterPro との連携	
9 . その他	
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
スキャナ選択コマンドの追加	
図面情報での日本語制御対応	
本管機能	
- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
2.新規格対応の管マスタ提供	
3.情報引出し線の強化	
部品・金具情報の引出しに対応	21
新しい書式(切管番号、枝番号)の追加	
4. 管単位の寸法線に対応	
色分け表示	
情報の文字表示	24

6. スポイト編集に対応	. 20
7. 日報の機能強化	. 26
工区ごとの集約表示	. 26
集計欄に管延長のあてうち	.27
管路付帯部材の入力	.27
その他項目の累計処理対応	. 28
空日報でも累計あてうち	. 29
日報再構築機能の提供	

## はじめに

#### はじめに

ANDES 水匠 2014 は、これまで ANDES シリーズとして長年培ってきたノウハウをベースに、ユーザー様からいただいた貴重なご意見・ご要望にお応えし、より業務にマッチしたシステムに改良されました。 初心者の方からベテランの方まで柔軟に対応できるユーザーインターフェイスを備えています。

水道機能では、編集機能の充実と、さや管の作図・編集機能の拡張を行い、さらに使い易く・書きやすくなりました。また、新機能「図面チェック」を使用することで、図面完成度を向上させることができます。

本管機能では、情報の見える化とスポイト編集機能の提供で、編集作業を簡略化しています。また、情報引出 し線・寸法線の改良と、日報機能の大幅強化を行い、各地域の多様な表現・書き方に対応しました。 ANDES 水匠 2014 の新しい機能をぜひご体感ください。

基本機能
------

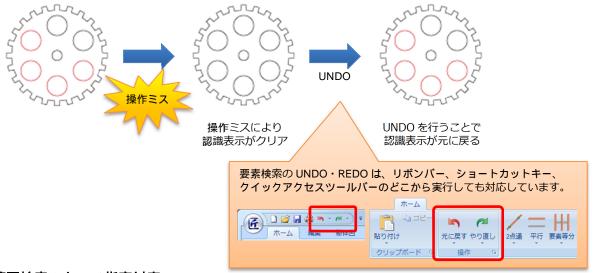
#### 1.要素検索の改良

#### 要素検索の UNDO / REDO 対応

従来の作図・編集に対しての UNDO / REDO 機能を、要素検索にも対応させました。

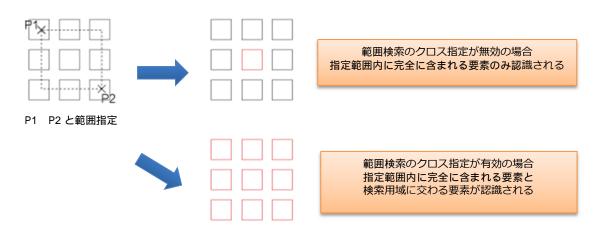
連続での要素検索中に操作ミスが発生した場合、認識している状態がすべてクリアされ、再度要素を検索しな おさなければなりませんでした。今回の対応によって、簡単に認識状態を元に戻すことができ、要素検索を利 用した編集などの作業効率が大幅にアップします。

要素検索の UNDO / REDO は、通常のコマンドアイコンまたはショートカットキー(CTRL+Z・CTRL+Y)を使って、要素の認識状態を元に戻すことができます。



#### 範囲検索のクロス指定対応

範囲検索時に検索領域と交わる要素を認識するモードを追加しました。 対象となる要素は、線分、円・円弧、作図線、作図円です。



設定は、要素検索モードのメニュー内で【範囲検索のクロス指定切替】を選択して、有効・無効を切り替える ことができます。作図状況に応じて、簡単にモードを切り替えることができます。

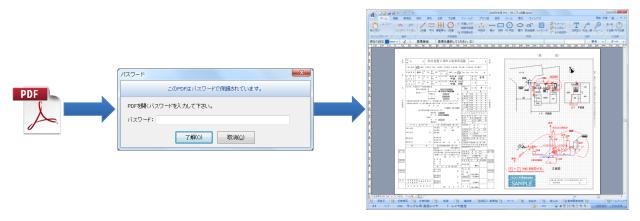


#### PDF 変換の改良

これまで読込むことができなかった形式(パスワード付き PDF ファイル、JBIG2 の画像圧縮形式)に対応しました。

#### パスワード付 PDF ファイルの読込み

これまで、パスワード付き PDF ファイルは「暗号化されている PDF 文書」として、読込むことができませんでした。ANDES 水匠 2014 では、ファイルに設定されているパスワードを正しく入力することで、PDFファイルを開くことができるようになりました。



印刷やコピーの制限など部分的な機能をパスワードで保護されている PDF ファイルに関しては、著作権の問題で、読込みに対応していません。

#### JBIG2 の画像圧縮形式への対応

画像圧縮形式"JBIG2"を使用したイメージデータを含む PDF ファイルの読込みに対応しました。

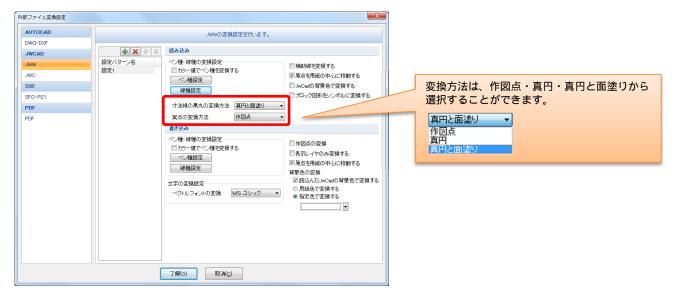
#### DXF / DWG 変換の改良

AutoCAD2013 / 2014 / 2015 の DXF・DWG ファイルの保存 / 復元に対応しました。

#### JWW 変換の改良

JWW ファイルを読込む際、寸法線の矢印の黒丸や実点の変換方法を指定できるようになりました。これまでは、実点を必ず作図点に変換していたため、実点を印刷することができませんでした。ANDES 水匠 2014 より、実点の変換方法を選択することができるため、印刷の有無を考慮して実点を変換することができます。

変換方法は、あらかじめ【外部ファイル変換設定】で選択しておきます。

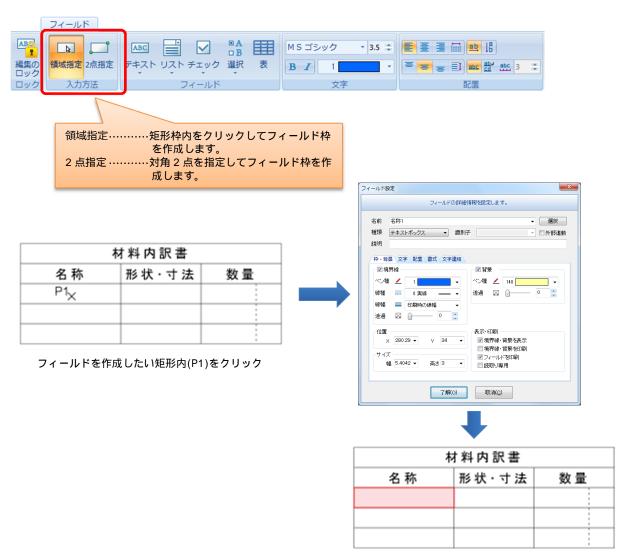


真円の半径は、JWW ファイルに保持されている「印刷時の実点の半径」を使用して変換を行います。設定は、JWCAD で JWW ファイルを開いて、【設定メニュー/基本設定】で確認してください。

#### 領域指定入力への対応

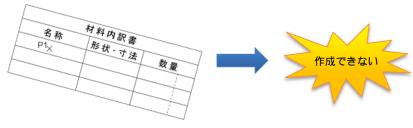
フィールドの作成方法に 領域指定 のモードを追加しました。

フィールドの作成したい矩形領域内をクリックすることで、その矩形を自動判定しフィールドを作成します。これにより、既に記入されている表から簡単に領域を指定することができるため、材料集計の帳票などの作成時間がかなり削減されます。対象となる要素は、線分のみとなります。



矩形領域を自動判定しフィールドが作成される

角度が付いている矩形は、クリック時にエラーとなり作成することができません。

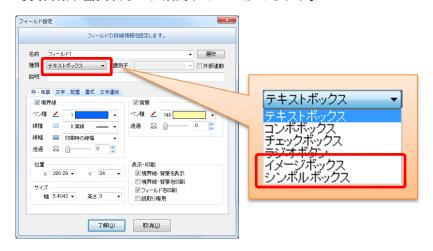


角度が付いた矩形内をクリック

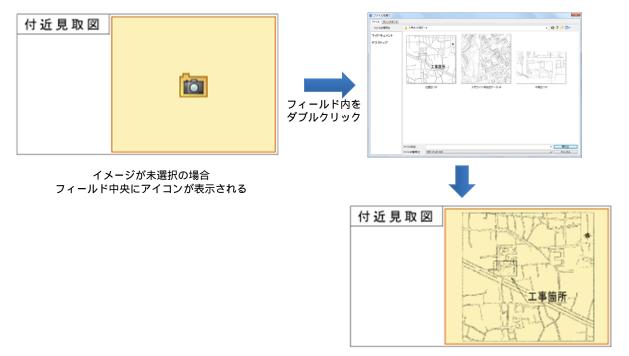
#### シンボル、イメージボックスの追加

フィールドの種類に、"シンボルボックス"と"イメージボックス"を追加しました。これにより、シンボルやイメージを図面上の指定領域に簡単に配置することができます。

写真台帳や器具表などに活用することができます。

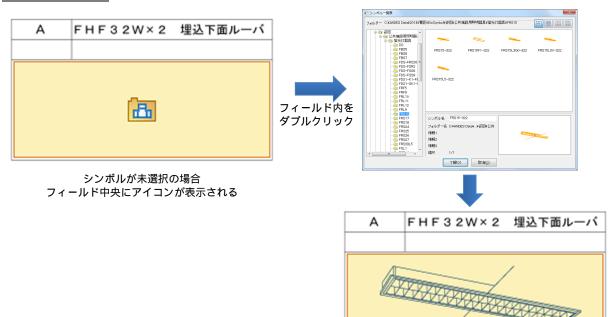


#### <u>イメージボックス</u>



フィールド内にイメージが表示される

#### シンボルボックス



フィールド内にイメージが表示される

#### 日付書式の"曜日"対応

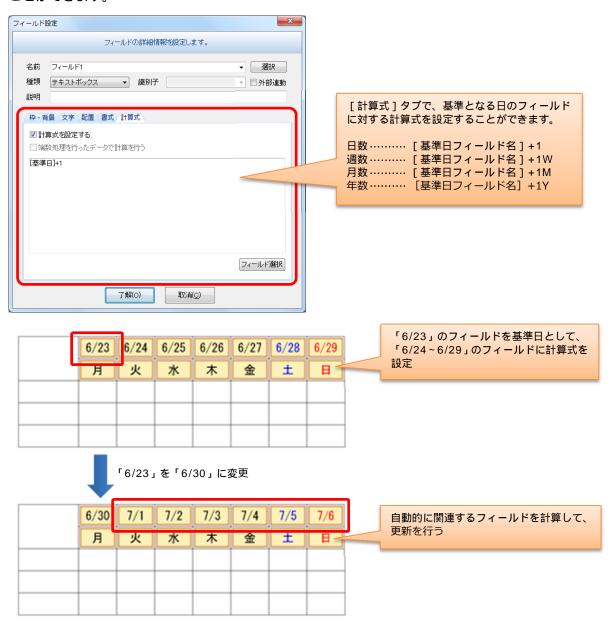
テキストボックスの日付書式に、曜日の項目を追加しました。

土曜日および日曜日の場合は、ペン種を別に指定することができます。



#### 日付書式の計算式対応

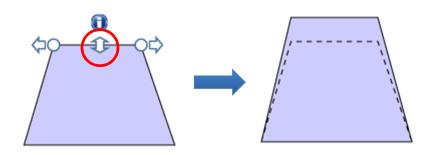
日付書式のフィールドを、計算式に対応しました。基準となる日のフィールドを変更することで、他の日付を 一括で変更することができます。計算式には、基準となる日付に対して、日数、週数、月数、年数で指定する ことができます。



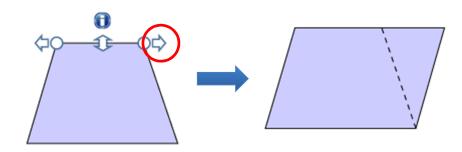
#### 4.領域データの編集強化

面塗り、ハッチング、テクスチャの領域をハンドルポイントで、編集できるようになりました。 ハンドルポイントには、頂点の移動および平行移動があります。

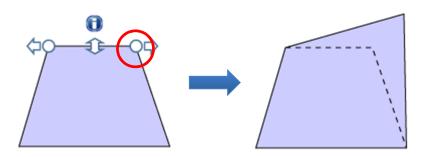
#### 平行移動



#### <u>端点延長</u>



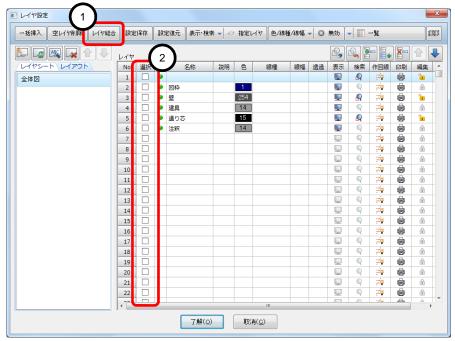
#### <u>頂点移動</u>



#### 5. レイヤ関係の改良

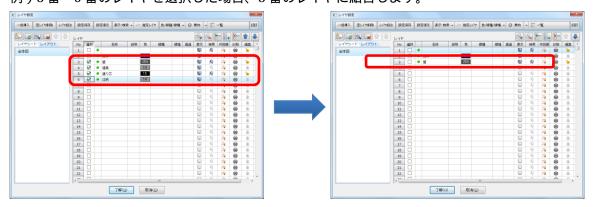
#### レイヤ結合機能の追加

『レイヤ設定』ダイアログに、レイヤ結合( )のボタンを追加しました。レイヤー覧の選択チェック欄( )で、結合したいレイヤにチェックを入れ、レイヤ結合( )のボタンをクリックすることで、選択したレイヤを一括で結合することができます。



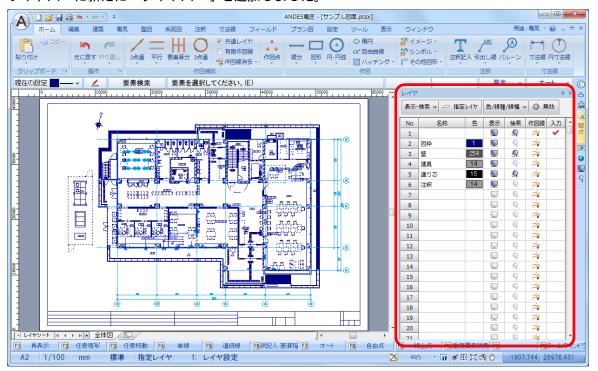
結合は、選択したレイヤの中で、先頭となるレイヤに対して行われます。

例)3番~5番のレイヤを選択した場合、3番のレイヤに結合します。



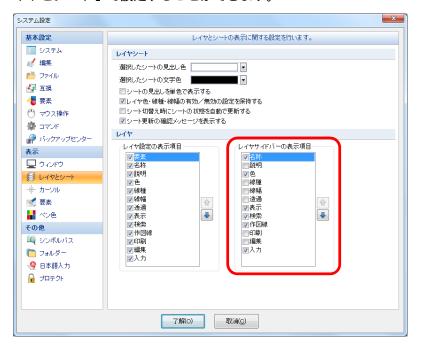
また、一覧モードだけでなく、参照図モードでも、同様の操作でレイヤ結合を行うことができます。

サイドバーに新たに「レイヤバー」を追加しました。



これまでは、『レイヤ設定』ダイアログ上という限られた画面内でしか、レイヤの確認や編集を行うことができませんでした。「レイヤバー」を用いることで、作図を行いながらレイヤの状態を確認したり、レイヤの編集を行うことが可能になりました。

「レイヤバー」に表示される項目は、レイヤ設定ダイアログと同様に、システム設定ダイアログの【表示 / レイヤとシート】で設定することができます。

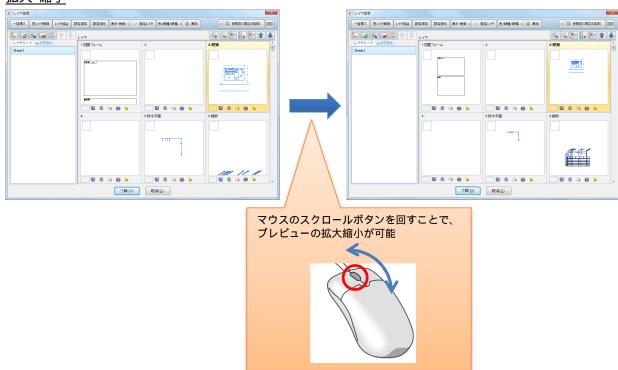


#### 参照図モードでの画面操作に対応

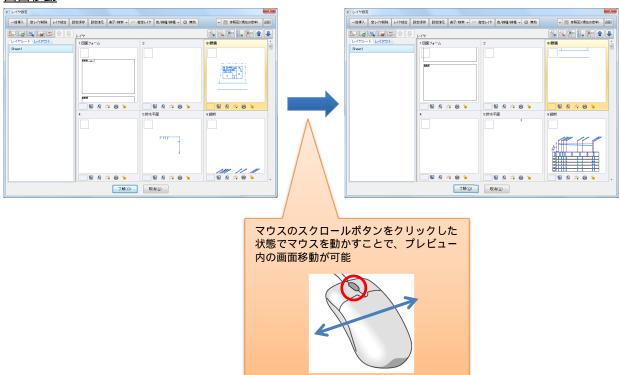
『レイヤ設定』ダイアログを参照図モードで利用している場合、図面のプレビュー上でのマウス操作に対応しました。作業ウィンドウ上と同様に、マウススクロールによる拡大・縮小や、スクロールボタンをクリックした状態での画面移動を行うことができます。

これによって、『レイヤ設定』ダイアログを起動した状態でも、各レイヤの要素を確認しながら、レイヤの各種操作を行うことができるようになりました。

#### 拡大・縮小

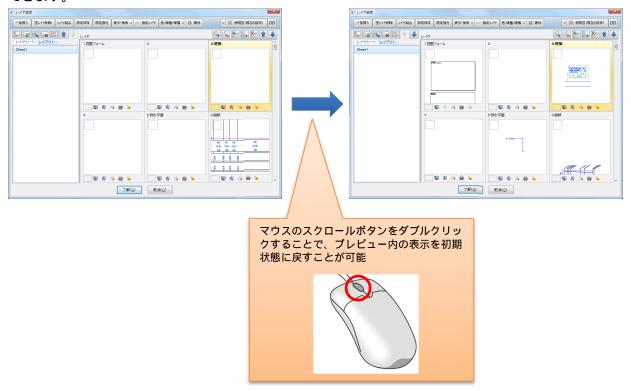


#### 画面移動



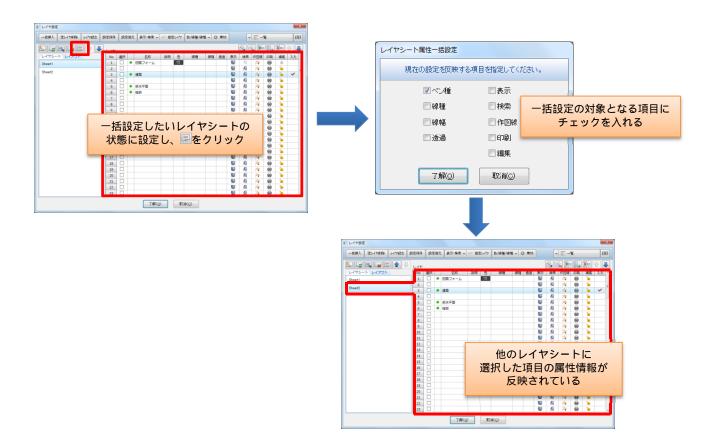
#### 表示状態のリセット

プレビュー内で画面移動、拡大・縮小の画面操作を行った後、マウスのスクロールボタンをダブルクリックすることで表示状態がリセットされます。『レイヤ設定』ダイアログを起動したときの初期状態に戻すことができます。



#### レイヤシート一括属性設定機能

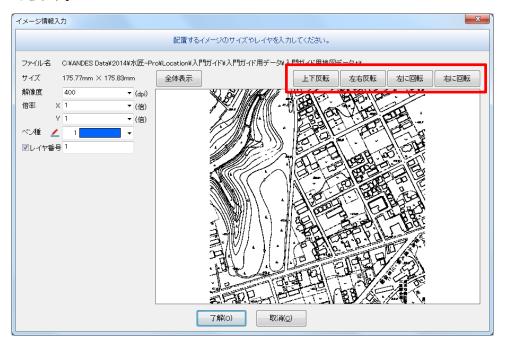
レイヤシートのペン種・線種などの属性情報を、他のレイヤシートへ一括で設定できる機能を追加しました。



#### 7. イメージ関係の改良

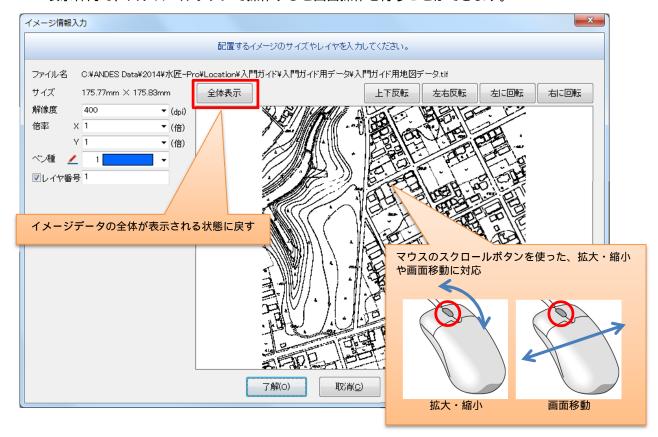
#### 左右回転、反転機能の追加

『イメージ情報入力』ダイアログボックス上で、イメージデータの左右 90°回転および左右、上下反転に対応しました。スキャナで取り込む方向を意識することなく、またイメージ配置後の編集作業を軽減することができます。



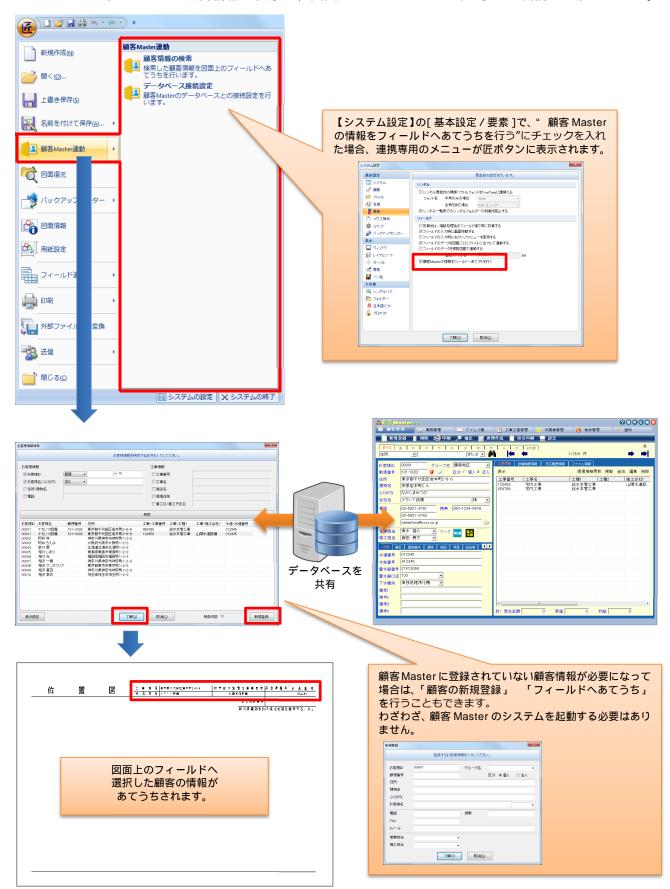
#### プレビュー上での画面操作に対応

『イメージ情報入力』ダイアログボックス上での、拡大・縮小、画面移動の画面操作に対応しました。プレビュー表示枠内で、スクロールボタンで操作すると画面操作を行うことができます。



#### 8. 顧客 Master Pro との連携

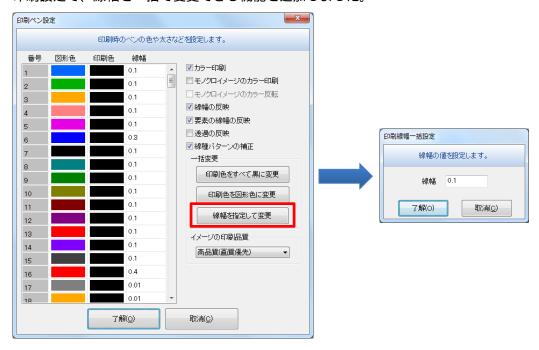
顧客 MasterPro で登録されている顧客情報を検索し、図面上のフィールドに当て字する機能を追加しました。



#### 9. その他

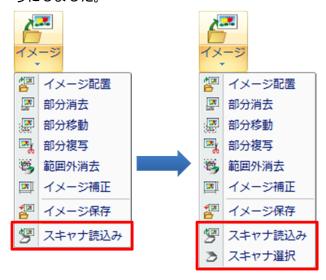
#### 印刷設定での線幅一括変更の機能追加

印刷設定で、線幅を一括で変更できる機能を追加しました。



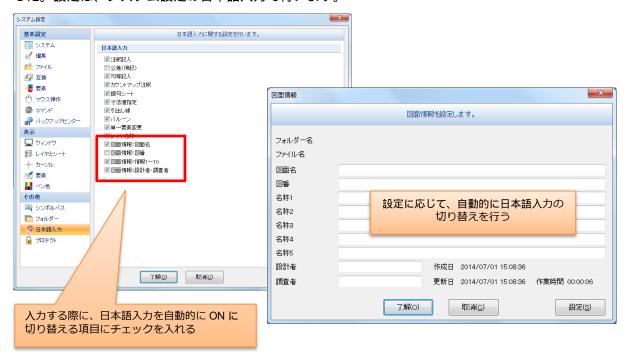
#### スキャナ選択コマンドの追加

【スキャナ読込み】コマンドから、読込むスキャナを選択する機能を取り除き、別コマンドとして動作するようにしました。



#### 図面情報での日本語制御対応

『図面情報』ダイアログボックスで図面情報を入力する際、日本語入力の自動切り替えが行えるようになりま した。設定は、システム設定の日本語入力で行います。



# 本管機能

#### 1.本管機能について

ANDES 水匠 2014 では、管情報(日付、工区、グループ、呼び径)の文字表示・色分け表示を実装し、情報の見える化を行っています。情報の見える化の実装と、スポイト編集機能の提供で、編集作業がかなり簡略化されました。また、情報引出し線・寸法線の改良と、多様な表現に対応を行っています。日報機能では、お客様からのご意見・ご要望を参考に大幅強化を行い、各地域の日報書式に幅広く対応を行いました。

#### 2. 新規格対応の管マスタ提供

新規格の管種などを追加した管マスタを提供しています。

#### GX 形の中口径管の追加

- ・ 300、 400 の呼び径を追加
- · 曲管 5 5/8°を追加
- 排水T字管(300、400)を追加

#### S50 形の追加

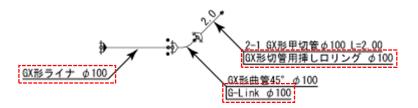
・ ダクタイル鋳鉄管の新規格「S50 形」を追加

#### 3.情報引出し線の強化

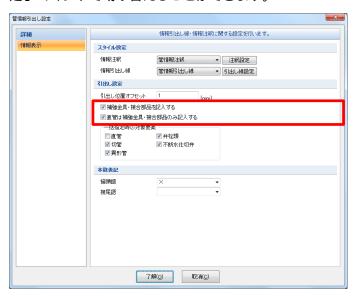
管の情報に加え、管に付属している部品・金具の情報も、情報引出し線で引出せるようになりました。

#### 部品・金具情報の引出しに対応

接合部品や補強金具の情報引出しに対応しました。これによって、ライナや挿しロリングなどの情報も一緒に引出すことができます。



部品・金具情報の引出しの有無は、【管情報引出し線】コマンドのリボンバーの設定ボタン、または【本管設定】コマンドで切り替えることができます。

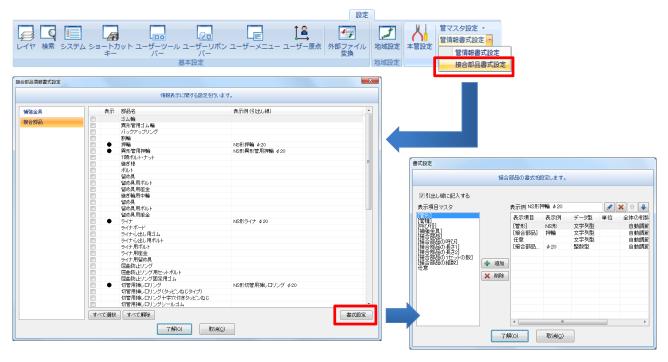


補強金具・接合部品を記入する

直管は補強金具・接合部品のみ記入する

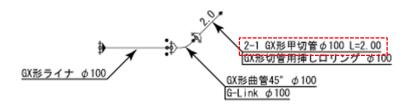
・・・・・・・ 直管に対しては、管の情報は引出さず、部品・金具の情報のみ引出すことができます。

接合部品・補強金具ごとの書式の設定は、設定リボンバーの【接合部品書式設定】コマンドで設定することができます。



#### 新しい書式(切管番号、枝番号)の追加

甲切管、乙切管に対して"切管番号"、"枝番号"の情報を、情報引出し線で引出すことができるようになりました。

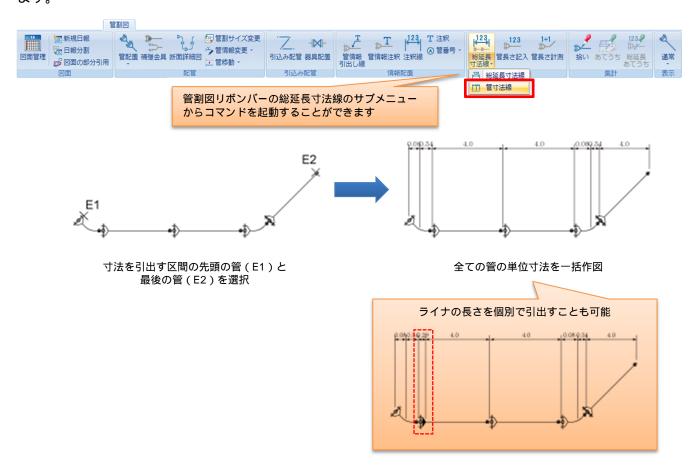


【管情報書式設定】コマンドで、甲切管・乙切管に対して"切管番号"、"切管枝番"の書式を追加することで、引出すことができます。



#### 4. 管単位の寸法線に対応

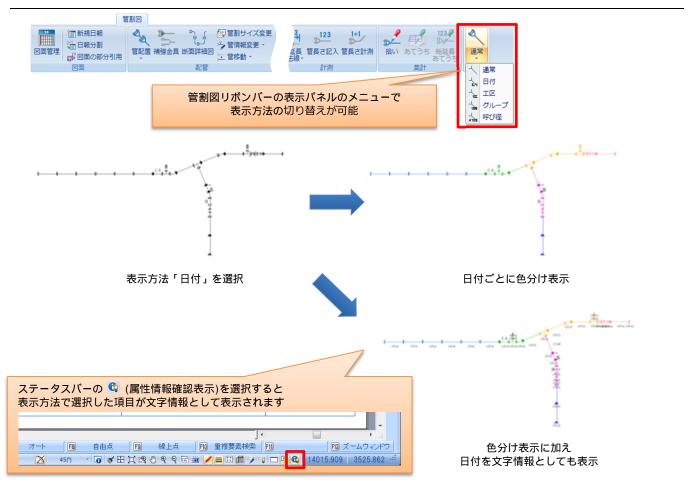
指定した区間の管毎の寸法を一括で作成できるようになりました。また、ライナ単体の寸法も引出すことができます。



#### 5.情報の見える化

隠れた情報の見える化に対応しました。管の「日付」「工区」「グループ」「呼び径」での色分け表示や、文字として表示し、目視確認することでミスの発見をしやすくなります。また、情報を見ながら編集も可能です。

#### 色分け表示



#### 情報の文字表示

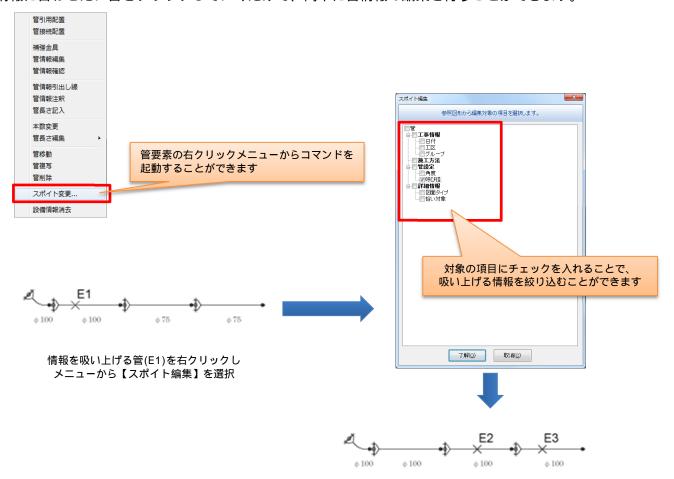
文字情報として表示する内容を「日付」「工区」「グループ」「呼び径」から組み合わせて表示することもできます。【システム設定】コマンドの[表示/要素]で設定することができます。



この設定は、色分け表示で"通常"を選択した場合に有効になります。

#### 6.スポイト編集に対応

スポイト編集という新たな編集機能を追加しています。管の情報(日付・工区・グループ・呼び径・施工方法など)を吸い上げて、他の管に反映させることができます。操作は、変更元となる管から必要な情報を吸い上げ、同じ情報に合わせたい管をクリックしていくだけで、簡単に管情報の編集を行うことができます。



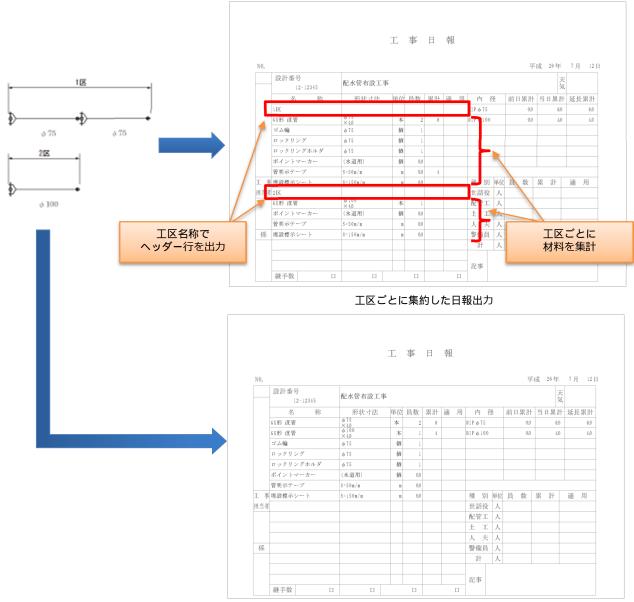
吸い上げた情報に合わせる管(E2、E3)をクリック

#### 7. 日報の機能強化

材料集計の多様な表現に対応しました。

#### 工区ごとの集約表示

一枚の日報に、複数工区を記入する場合、工区ごとに集約した材料集計を出力できるように対応しました。



通常の日報出力

【本管設定】コマンドの[日報・集計/集計]で"日報図面の中で工区ごとに集約する"を選択した場合、 有効になります。

#### 集計欄に管延長のあてうち

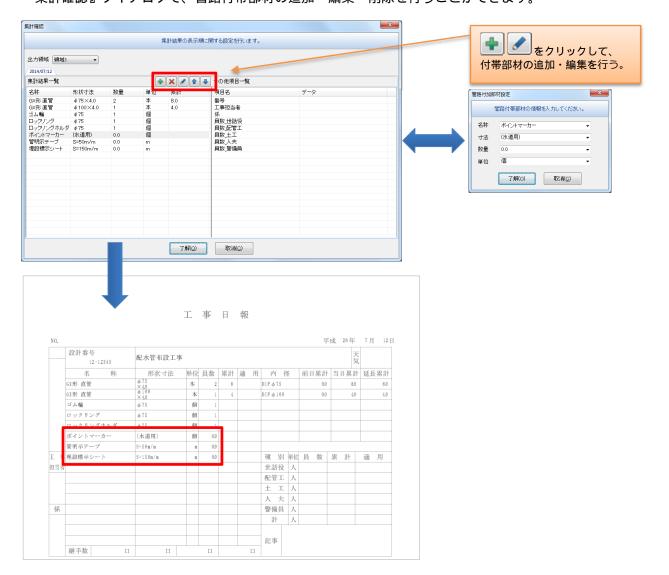
材料集計で、管の合計本数だけでなく「管延長」の出力への対応も行いました。



#### 管路付帯部材の入力

管と一緒に埋設するテープやシート類などの管路付帯部材の出力に対応しました。

『集計確認』ダイアログで、管路付帯部材の追加・編集・削除を行うことができます。



また、【あてうち書式設定】コマンドの集計書式設定で、管路付帯部材の初期設定を行っておくことで、日報出力時に毎回同じ付帯部材を入力する手間を省くことができます。



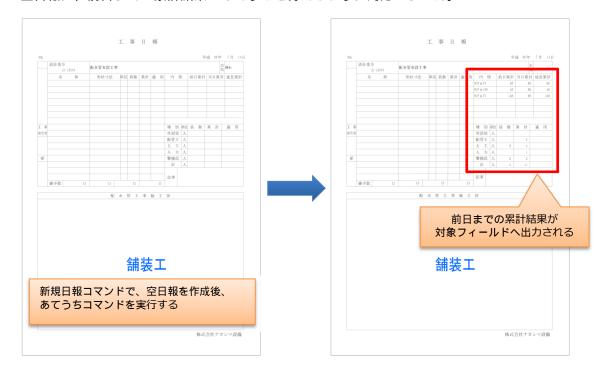
#### その他項目の累計処理対応

配管工や作業員などの手入力による「その他項目」の累計処理に対応しました。





空日報に、前日までの累計結果のあてうちを行えるように対応しました。



#### 日報再構築機能の提供

作成済みの日報を、日付の古い順に再集計する機能を追加しました。

図面管理バーの (日報再構築ボタン)をクリックすることで、すべての日報を再集計し、累計結果を最新の状態に再構築します。

